

西尾市事務評価シート

事務No.	13-038	事務内容	市政概要・都市国保・西尾の福祉・事業調査票				
総合計画施策コード	452	事務開始年度	不明		担当課名	保険年金課	
予算科目	01款	01項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (1 4 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市各部署で作成する統計等の作成
事務の対象 (誰(何)のために)	市各部署
事務の概要 (具体的に何を)	他課からの依頼により、他課が作成する統計等に必要数値を作成する

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.0人	0.0人	0.0人	
人 件 費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
財源内訳③ の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	0円	0円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	資料作成に必要な時間					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
	活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 13-038

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	他課からの依頼によって発生する事務であり、保険年金課の判断で廃止することができないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適切であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	本事務は他課が取りまとめる統計資料等の保険年金課担当分であり、保険年金課で廃止の判断をすることはできない					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	本事務は他課が取りまとめる統計資料の保険年金課担当分であり、保険年金課で廃止をすることはできない				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	内部資料を扱うため、民間委託・市民協働は不可能					
事務全体の課題	各種統計の必要性を各課で再度見直しを図る。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	統計資料の作成は基本的にどの市も実施している
---------------	------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	本事務は他課作成の統計業務の数値を作成しているため、保険年金課では廃止・縮小をすることができない。各種統計等の必要性を原課で再度見直しを図る。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他課に統計資料の必要性を確認するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	13-039	事務内容	各種統計資料・報告資料の作成（滞納関係以外）				
総合計画施策コード	452	事務開始年度	不明		担当課名	保険年金課	
予算科目	01款	01項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (1 4 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市各部署で作成する統計等の作成
事務の対象 (誰(何)のために)	市各部署
事務の概要 (具体的に何を)	他課からの依頼により、他課が作成する統計等に必要な数値を作成する

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	0円	0円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	資料作成に必要な時間					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
	活動一単位当たりのコスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 13-039

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	他課からの依頼によって発生する事務であり、保険年金課の判断で廃止することができないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適切であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	本事務は他課が取りまとめる統計資料等の保険年金課担当分であり、保険年金課で廃止を判断することができない					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	本事務は他課が取りまとめる統計資料の保険年金課担当分であり、保険年金課で廃止をすることができない				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	内部資料を扱うため、民間委託・市民協働は不可能					
事務全体の課題	各種統計の必要性を各課で再度見直しを図る。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	統計資料の作成は基本的にどの市も実施している
---------------	------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	本事務は他課作成の統計業務の数値を作成しているため、保険年金課では廃止・縮小をすることができない。各種統計等の必要性を原課で再度見直しを図る。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他課に統計資料の必要性を確認するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	13-071	事務内容	受付全般及び受付指導全般				
総合計画施策コード	452	事務開始年度	不明		担当課名	保険年金課	
予算科目	01款	01項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (1 4 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	保険年金課窓口に来庁された方に適切かつ効率よく対応する。また、お待ちいただく時間を極力少なくする。
事務の対象 (誰(何)のために)	保険年金課に御用のある方
事務の概要 (具体的に何を)	保険年金課に来庁された方を極力お待たせしないようただちにカウンターへ呼び出す。用件を適切かつ効率よく確認し、迅速に対応する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.1人	0.1人	0.1人	
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	窓口対応の多寡は来庁者の動向によるため指標無し					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	窓口対応の多寡は来庁者の動向によるため指標無し					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 13-071

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	来庁者に対する窓口対応のため終了することは無い		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	1	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	1	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	窓口カウンターの仕事やイスを担当ごとに色分けするなどして来庁者の動線を改善したことにより、来庁者の待ち時間や窓口対応効率が改善された。					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	来庁者に対する窓口対応のため、引き続き実施する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現時点で予定は無い。					
事務全体の課題	窓口混雑時には、来庁者に気付くことができず声掛け漏れが発生しやすくなることや、来庁者の対応順序がわからなくなることがあり、来庁者にご迷惑をおかけしてしまうことがある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣7市のうち5市は国民健康保険の窓口において発券機を導入している。
---------------	------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	窓口混雑時に、なぜ発券機が設置されていないのかとのご意見をいただいた。(平成29年)
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	事務机やカウンター、待合イス等のレイアウト変更や発券機の導入等を検討し、より円滑な窓口対応を目指す。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	市民に対してより良い窓口の受付業務ができるよう常に改善を心掛け、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	13-092	事務内容	出産支援金関係(一般会計)				
総合計画施策コード	452	事務開始年度	平成22年度		担当課名	保険年金課	
予算科目	03款 02項 04目	大事業	01	中事業		00	
事務事業名 (中事業名)	出産支援金交付事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市の子育て支援、少子化対策の一環として、西尾市における妊産婦世帯の経済的負担の軽減を図り、安心して出産できる環境を整えることを目標にする。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾市在住で出生したお子さんの父又は母
事務の概要 (具体的に何を)	平成22年4月1日(旧幡豆郡三町の住民の方は平成23年4月1日)以降に出産された方に、加入している医療保険にかかわらず、出産支援金として、46万円から附加給付金を含む出産育児一時金を差し引いた額(通常4万円)を交付する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	52,402,000円	49,250,000円	0円
人工	0.1人	0.1人	0.0人
人件費②	707,298円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	53,109,298円	49,960,461円	0円
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	53,109,298円	49,960,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-3,148,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-5.93%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	役務費	通信運搬費 支給通知、返信代金	202,510円
	負担金	扶助費	49,047,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	出産支援金の交付件数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	出産支援金の交付率					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	39,575円		39,620円		0円		

●事業の終期

事務No. 13-092

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		4	事務時間は適切なものになっているか		4	
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		3	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		4	
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント	妊産婦世帯の負担軽減、安心して出産できる環境の整備に一定の役割を果たしている。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	平成30年度からは子育て支援策の一環として、平成30年4月1日以降に出生した子については、「出産支援金」を「西尾すこやか祝い金」として子育て支援課に事務移管をした。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	-					
事務全体の課題	これまでは、保険年金課で事業を行っていたが、子育て支援課に所管替えを行うことで、市の子育て行政として他事業を含めた総合的な子育て世帯に対する支援を行っていく。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	同種類の事務としては、近隣市8市では未実施。
---------------	------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	現在、子育て世帯を取巻く環境やニーズは多様化しており、子育て関係予算に対する需要は増加傾向にある中、限られた予算を最大限に発揮するため真に求められる事業の把握と優先順位の精査を行い、スクラップ・アンド・ビルドに通じるような予算配分を、ゼロベースで進めていく必要がある（H28 行政改革検討部会）
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成30年度より子育て支援課に事務移管を行なった。
--------	---------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他事業と連携した総合的な子育て支援策となるよう、事務の状況等を引き継いでいただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	13-104	事務内容	無受診表彰関係				
総合計画施策コード	452	事務開始年度	不明		担当課名	保険年金課	
予算科目	08款	02項	01目	大事業	01	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	疾病予防事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	国民健康保険を受診することなく、健康保持に努めた世帯への褒賞
事務の対象 (誰(何)のために)	一年間無受診の世帯、かつ国保税完納世帯
事務の概要 (具体的に何を)	対象世帯に、健康保持に努めたということで愛知県薬業協同組合医薬品券3,000円分を送付

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	2,538,000円	2,379,000円	3,000,000円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	3,245,298円	3,089,461円	3,718,991円
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	3,245,298円	3,089,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-155,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-4.80%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	記念品賞品	3,000円×793世帯	2,379,000円
	通信運搬費	402円×844世帯	339,288円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	無受診世帯の数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		846 世帯		793 世帯		1,000 世帯	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		3,836円		3,896円		3,719円	

●事業の終期

事務No. 13-104

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		2	事務時間は適切なものになっているか		2	
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		2	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		2	
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
評価の総合的なコメント	被保険者のうち一年間医療機関へ受診することない世帯への褒賞として行ってきたが、近年は被保険者へ保健事業で健康への意識付けを図っており、早期発見・早期治療を推進していく必要がある。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	近隣市が実施をしていないこと。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	—					
事務全体の課題	—					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣8市は実施していない。
---------------	---------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	無受診の褒賞は世帯単位であるため、世帯員の多い世帯は対象にならない可能性が高くなり、公平性に問題がある。(H30.1月 窓口)
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特定健康診査の受診率を向上させ病気の早期発見・早期治療を促したり、重複受診などを減らすという方法を重点的に実施していく必要がある。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---